

- 1  $f \in C([a, b])$ ,  $K \in C([a, b] \times [a, b])$ ,  $\lambda \in \mathbf{R}$  とし, 次の  $u = u(x)$  を未知関数とする Fredholm の積分方程式

$$u(x) = \lambda \int_a^b K(x, y)u(y) dy + f(x), \quad x \in [a, b] \quad (*)$$

を考える.  $u, v \in C([a, b])$  に対して, 距離  $d(u, v)$  を

$$d(u, v) := \max_{a \leq x \leq b} |u(x) - v(x)|$$

により定めると,  $(C([a, b]), d)$  は完備距離空間となる.  $u \in C([a, b])$  に対して,  $[a, b]$  上の関数  $Tu$  を

$$(Tu)(x) := \lambda \int_a^b K(x, y)u(y) dy + f(x), \quad x \in [a, b]$$

により定める. このとき, 以下の問いに答えよ.

- (1)  $T$  は  $C([a, b])$  からそれ自身への写像になること (すなわち,  $u \in C([a, b])$  ならば  $Tu \in C([a, b])$  となること) を示せ. ただし, 有界閉集合  $[a, b] \times [a, b]$  上の連続関数は一様連続になることを証明抜きで用いてもよい.
- (2)  $M := \max\{|K(x, y)| \mid x, y \in [a, b]\}$  とおく. もし  $M(b-a)|\lambda| < 1$  ならば,  $T$  は  $(C([a, b]), d)$  からそれ自身への縮小写像になることを示せ. (したがって縮小写像の原理により, Fredholm の積分方程式 (\*) はただ 1 つの解  $u \in C([a, b])$  を持つ.)

#### レポート作成上の注意

- A 4 版のレポート用紙を使用し, 表紙を付けること. 表紙には科目名, レポート番号, 学籍番号, 氏名, 所属学科を記入すること (学事センターにある所定の表紙を使う必要はない.) レポートの左上をホチキス留めすること.
- 最終的な答えだけでなく, 途中計算を分かりやすく説明すること.
- ワードプロ,  $\text{T}_\text{E}_\text{X}$  等は使用せず, 手書きで (丁寧な字で) 作成すること.
- レポートは次回の講義終了後に回収する.